

カンガルーシップ活動

## 共生プロジェクト 実施報告書

報告日 平成29年3月9日

主管学校名 埼玉大学教育学部附属幼稚園

PTA会長名 附属幼稚園 富井武敏  
附属特別支援学校 堀田清彦

実施概要	主管校	埼玉大学教育学部附属幼稚園
	交流校	埼玉大学教育学部附属特別支援学校
	実施活動名	① 特別支援学校運動会応援ポスター作製 ② カンガルーシップ活動の意義の周知 ③ 夏休み親子遠足 ④ 特別支援学校副校長先生による講演会
	実施日時	① 平成28年5月28日 ② 平成28年6月2日、13日、16日 ③ 平成28年7月28日 ④ 平成29年3月3日
	実施場所	① 幼稚園園長室 ② 幼稚園遊戯室 ③ 特別支援学校小学部および日常生活訓練「しいのきハウス」 ④ 埼玉大学教育学部教育実践総合センター（附属小学校内）
	実施目的	本園PTA活動のひとつとして特別支援学校の生徒および保護者の交流を通じて、特別支援学校への理解と保護者同士の親睦を深める。
	実施内容	① 今までの交流への感謝を伝える。 ② 幼稚園と特別支援学校の交流の歴史、そしてカンガルーシップ活動について理解を深める。 ③ 特別支援学校の生徒および保護者と実際に交流する。 ④ 特別支援学校の教員の立場から見た共生社会のあり方について学ぶ。
	実施方法	① 幼稚園児が運動会応援の絵を描き、ポスターを作製し、運動会当日に届ける。 ② 幼稚園の保護者に対し担当のPTA理事が今までの園と特別支援学校の関わりやカンガルーシップ活動について資料を作成し、説明して理解を深める。 ③ 幼稚園児・小学生・保護者・教員は貸し切りバスで特別支援学校を訪問する。 参加者は特別支援学校の生徒・保護者・教員と一緒に遊び、またおもてなしを受けることで交流を深める。 ④ 特別支援学校の副校長先生に講師として来校いただき、PTA講演会を行う。
参加人数	① 園児約80名 ② 保護者76名 ③ 幼稚園側（園児・保護者・兄弟・教員55名） 特別支援学校側（生徒・保護者・教員57名）合計112名 ④ 保護者65名	

	内容	<p>① 今までの交流の感謝を込めて、特別支援学校の運動会応援ポスターを作製した。園児が応援メッセージや好きな絵を描き、保護者が絵を貼り合わせた。PTA 会長が運動会当日に特別支援学校の生徒さんらにお渡した。</p> <p>② 保護者を対象に今までの交流の歴史やカンガルーシップ活動についての理解を深めるために、資料を作成し、説明会を開き理解を深めた。また夏に行われる親子遠足についても、内容説明と参加の呼びかけをした。</p> <p>③ 幼稚園児・小学生・保護者・教員は貸し切りバスで特別支援学校を訪問した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園児・小学生・保護者は、はじめの挨拶として園歌を合唱した。</li> <li>・芝生の校庭でジェンカを全員で踊った。</li> <li>・特別支援学校の生徒と共に水鉄砲やシャボン玉などの水遊びをした。</li> <li>・一緒に楽器やお絵かき、トランポリン、スイカ割りを楽しんだ。</li> <li>・特別支援学校の生徒の方が、スイカを切り分けてふるまっていた。</li> <li>・幼稚園の保護者や教員は特別支援学校の保護者や教員と交流し、現場の実際の話聞くことで、特別な支援を必要とするお子さんへの接し方について理解を深めた。</li> <li>・全員で記念撮影をし、最後にお互いにハイタッチをして終了した。</li> <li>・幼稚園児・小学生・保護者・教員はしいのきハウスをお借りして、昼食をとり、帰宅した。</li> <li>・後日、お礼に交流時の写真と参加者からのお礼メッセージをスクラップブックしお渡しした。</li> </ul> <p>④ 特別支援学校の神田副校長先生をお招きし、子育てに関わる世の中の流れや、特別な支援を必要とするお子様への関わり方などについてご講演いただきました。 演題は「特別な支援を必要とする子とのかかわり - 共に育つために - 」</p>
報告事項	結果	<p>① 有志でしたが、ほとんどの園児が絵を描きました。それを貼り合わせ、2枚のポスターが完成しました。特別支援学校の運動会当日、PTA 会長がポスターを届けました。喜んでくださり、早速飾ってくださいました。</p> <p>② 全員の保護者が参加し、今までの交流の歴史やカンガルーシップ活動について理解を深めることができました。</p> <p>③ ジェンカは今回初めての企画で、園児にとって難しいかなと思われましたが、特別支援学校の生徒のみなさんの後について踊ることができ、全体がひとつになることができました。特別支援学校の生徒さんや保護者や先生が、水鉄砲、シャボン玉、楽器、お絵かき、トランポリンやスイカなど準備をしてくださり、園児や生徒のみなさんは、思いっきり遊ぶことができました。特に水遊びでは、お互いに水鉄砲でかけあう場面もあり、年齢や言葉を超えて楽しむことができたのではないかと、感じました。恥ずかしがるかなと思われましたが、最後のハイタッチは元よくできました。お絵かきの部屋や楽器の部屋では、保護者間でも子育ての話などでき、特別支援学校の PTA の方や保護者の方や先生方とも交流する良い機会となりました。</p> <p>④ 特別支援学校の様子、しょうがいのある方への関わり方、子どもたちを支える仕組みについて詳しくご説明いただきました。ほとんどの幼稚園保護者が拝聴し、知りたいけれど聞けなかった内容で大変興味深く理解を深めることができた。</p>
	所感	<p>① 初めての応援ポスターの作製でしたが、多くの園児や保護者の方が協力してくれ、お互いを意識するきっかけになりました。</p> <p>② カンガルーシップ活動の意義を知ること、今まで以上に深い交流ができるのではないかと感じました。</p> <p>③ 園児は普段障害のある生徒さんと接する機会がほとんどなく、このように実際に交流することは子どもたちにとって、年齢や言葉を超えた貴重な経験になったと感じました。相互の理解を深めていくためにも、交流形態などを再検討し、この活動を続けていきたいです。</p> <p>④ 社会や環境の変化によって、障害は障害ではなくなるということに、障害への認識が変わりました。特別な支援を必要とする方やその保護者への接し方などを伺って、共に学び共に過ごせる社会を過ごしていきたいです。</p>
添付書類	領収書 HP への掲載 可	

運動会応援ポスター



カンガルーシップ活動の意義の周知



親子遠足



特別支援学校副校長先生による講演会





## カンガルーシップ活動

## 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 3 月 9 日
学校名	埼玉大学教育学部附属幼稚園
学年	年少～高校生

## 【特別支援学校運動会応援ポスター作製】

- ・運動会に行ってみたいな。
- ・喜んでもらえると嬉しいな。
- ・もっとたくさん描きたかった。

## 【夏休み親子遠足】

園児、小学生

- ・スイカ割りが楽しかった。
- ・「お友達になろう！」と言われてすごく嬉しかった。
- ・みんなでバスで向かって楽しかった。
- ・トランポリンを初めてできて、嬉しかった。
- ・トランポリンが初めてで、興奮した。
- ・お兄さんたちとジェンカを踊れて、楽しかった。
- ・お兄さんが水鉄砲を貸してくれて優しかった。
- ・また行きたいな。
- ・もっと遊びたかった。

支援学校の生徒

- ・水遊びが一番楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・一学期にやったポテトをあげたかったです。
- ・サッカーなど一緒にやってみたいな。
- ・とても楽しかったです。
- ・みんなで歌を歌いたい。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年3月9日
学校名	埼玉大学教育学部附属幼稚園

### 【特別支援学校運動会応援ポスター作製】

- ・喜んでいただけて良かったです。
- ・個々の絵は小さいですが、大きなポスターに仕上がりと、運動会の応援ができて良かったです。

### 【カンガルーシップ活動の意義の周知】

- ・カンガルーシップ活動を知る良いきっかけになりました。
- ・今までの園と特別支援学校の関わりの歩みを知れ、より一層この活動の大切さがわかりました。
- ・今までのような交流会は是非続けていってほしいです。

### 【夏休み親子遠足】

#### 幼稚園保護者

- ・本当にたくさん園児たちのために準備をしてくださり、ありがとうございました。
- ・一緒に水遊びやスイカ割りを楽しく参加できて、とてもいい経験になりました。
- ・広いスペースを存分にに使わせていただき、家ではやらせてあげられない遊びを自由に楽しませていただきました。
- ・水遊びなど、何かを一緒にやる事で、子供たちも自然に交流ができたと思います。また支援学校のお兄さんお姉さんが園児を気遣い、世話をしてくれ良い経験をすることができました。参加できて本当に良かったです。
- ・バタバタしてしまい、あまりお母様方と交流できなかったのが、心残りです。
- ・遊びの種類が少なく、昨年よりまわりやすくて良かった。
- ・お兄さんたちをお手本にジャンカを踊っている姿が微笑ましかったです。
- ・特別支援学校の方が、子育て相談にのってくださり、とてもうれしかったです。
- ・特別支援学校のPTAの方とゆっくりお話ができ、温かく強い言葉に勇気づけられました。ありがとうございました。
- ・皆様のおもてなしの心に感謝でいっぱいです。
- ・特別支援学校の方は準備が大変だったと思います。
- ・準備をくださる方々の負担を軽減できる方法を検討し、このような活動を続けていけたらいいなと思います。
- ・貴重な体験をありがとうございました。
- ・改めてカンガルーシップ活動の意義を考えられる良い機会となりました。

#### 特別支援学校保護者

- ・とても楽しい時間を過ごすことができました。
- ・附属幼稚園のお母さま方とお話できて、うれしかったです。
- ・スイカ担当だったが、大好評でした。
- ・一昨日、悲しい事件があり、こんな風に一緒に楽しい場や時間を共有することの大切をしみじみと感じております。
- ・中途半端な時間なのでお昼を食べて帰りたい。(お弁当注文等)
- ・担当の副会長さんが全ての計画をするのは大変なので、次年度はPTA役員の中で分担するなど工夫が必要と思いました。
- ・子どもは楽しそうだが、保護者の準備が大変なので、もう少し簡素化してほしい。
- ・企画から準備に時間や労力がかかるので、支援学校側の実行委員会の人数を増やすなど工夫が必要だと思いました。

### 【特別支援学校副校長先生による講演会】

- ・大変興味深い内容でした。自分たちが子どもの頃よりも地方自治体の支援の制度など大きく変化していることにも驚きました。今後、学校や社会の中でどのような支援が必要かまた皆が健やかに成長し過ごしていけるためにと考える良い機会となりました。
- ・特別な支援を必要とする方がどのように感じているのかが、ご説明していただいたことで分かりやすく、少し理解できました。
- ・特別な支援を必要の有無に関わらず、親として不安に思うこと、ストレスを感じていることなど同じだと心に響きました。
- ・環境により障害のとらえ方が変わることで、スペクトラムなど大変学びの多いご講話でした。